

注 意 事 項

- 1 本競技会の競技規則は2020年度日本陸上競技連盟競技規則を適用する。
- 2 今年度は、新型コロナウイルス感染症の対策を取りながら競技会を進める。
- 3 招集について
 - (1)トラック競技は、競技開始10分前にスタート地点で完了すること。
 - (2)フィールド競技は、競技開始20分前に競技場所で完了すること。ただし、棒高跳は60分前とする。
- 4 競技場は全天候舗装なので、9mm以下のスパイクピンを使用すること。なお、走高跳は、12mm以下とする。
- 5 トラック競技は、腰ナンバーカードを右腰につけて競技する。招集時に受け取り、所定の位置に貼付する。競技終了後は、返却をせず各自で持ち帰ること。
- 6 トラック競技は、すべてタイムレース決勝とする。
- 7 この競技会の、トラック競技におけるスタートの取り扱いは以下の通りとする。
 - (1)日本陸上競技連盟の競技規則第162条 6・7により、不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。
 - (2)スターターの合図は英語とする。(「On your marks」、「set」)
- 8 フィールド種目は、試技回数を3回とする。
- 9 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、以下のとおりとする。

走高跳 男子	= (練習1.40)	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	……
走高跳 女子	= (練習1.20)	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	……

棒高跳 男子・女子 = 当日決定する。

※ 天候等により変更されることもある。
- 10 投てき種目の器具の重さは以下のとおりとする。

<男子>	砲丸投	= 5.0kg
<女子>	砲丸投	= 2.721kg
- 11 表彰について
 - (1)本競技会では行わない。記録については、当日はアナウンスでのみ行い、密集を避けるため掲示は行わない。
 - (2)後日、全記録をHP上に提示する。
- 12 本競技会は、競技者の安全を考慮し無観客での実施とする。引率者の制限は、学校等の単位で参加の場合は必要最小限とし、個人での参加の場合は保護者1名とする。
なお、**競技場に到着して受付をするときは、受付を競技者と引率者が同時に行うこと。**
- 13 スタンドの入り口は、正面管理棟南側入口のみとする。
- 14 受付時には、各自の「体調管理チェックシート」を提出する。また、検温を受けること。
検温終了後、入場する者にはリボンを配付するので、必ず常に見えるところに付けること。
ウォームアップやクールダウンのときも付ける必要がある。ただし、競技中はこの限りではない。
- 15 本競技会では、各自マスクを必ず着用すること。ただし、競技中(ウォームアップ、クールダウンを含む)は、この限りでない。
- 16 スタンドの座席は、競技場入口に掲示するスタンド割振表(座席案内図)をよく確認すること。
そして、帰る際には『座席確認票』を出口で提出のこと。
- 17 スタンドでは密にならないように心掛け、飛沫感染防止のため、応援等は禁止とする。
なお、ウォームアップ等や移動時にも密集・密着にならないよう心掛けること。
そして、競技を終えた際には、必ず手洗い・うがい・洗面等を心掛けること。
- 18 本競技会での迷惑行為については、その行動が「著しい他者への迷惑行為」と主催者が判断した場合は、速やかに警察および関係機関に連絡する。
- 19 ウォームアップをする際は、「第2コーナー ~ 第3コーナー のエリアを利用する」ことを原則とする。
ただし、長距離種目の競技中は第5レーンより外側を利用し、競技の妨げにならないようにする。
- 20 その他
 - (1)夏季のオールウエザートラックは高温となるので、裸足では競技をしない。なお、体調の管理については、水分補給等をして健康に十分注意をすること。
 - (2)正面スタンドの本部前には、競技関係者(競技者および審判等)以外は立ち入らないこと。
 - (3)競技中に生じたケガについて、応急処置はするが、以後の責任は負わない。
 - (4)出場者は競技の進行に協力し、競技役員の指示に従うこと。
 - (5)競技場のトイレについては、ルールを守って使用すること。
 - (6)ゴミ等は必ず各自で持ち帰り、感染防止と環境美化に努めること。